



くにびき通信

2026年度 第1号

大田市山村留学センター 三瓶こだま学園

はじめに

桜が満開となった4月7日（火）、三瓶こだま学園に9名の学園生が集まりました。同日開催の「入園のつどい」には、来賓の皆さま、そして地域の皆さまにお越しいただき、第23期生9名の入園を共に喜んでいただきました。あらためましてお礼を申し上げます。

親元を離れた学園生は、大きな不安の中… いやいや、新生活っぷりを見ていると、「ホントに不安があるの？」とってしまうほど学園に溶け込んでいるように見えます。わりと早くから学園生同士のコミュニケーションも取れ、空き時間ににぎやかに遊ぶ姿が印象的なスタートでした。

しかし、不安は必ずあるでしょう。子どもの頃の私ならどうか？きっと不安が表情や言動に出まくり、慣れるまでかなり日数がかかると思います。比して学園生は、自分の不安をきちんと認識したうえで、それを傍らに置くことができているのではないか。…と私は勝手に分析し、勝手に感心しています。不安があったとしても孤独を感じさせない関わりを意識したいと思います。

18日（土）に、山村留学の醍醐味のひとつである農家生活が始まりました。農家生活期間中、学園生は農家の子として生活します。センターでは味わえない家庭生活を通して、農業、文化、地域活動など、貴重な体験を数多く積み、この北三瓶で心身ともに成長されることを願っています。

学園生が充実した山村留学生活を送れるよう、精一杯支えてまいりますので、保護者の皆さまはもちろん、受け入れ農家の皆さま、北三瓶小・中学校の先生方、地域の方々におかれましては、引き続きのご支援並びにご協力を賜りますようお願いいたします。

大田市山村留学センター
センター長 桑野 尚宣

活動カレンダー

4月 7日（火）	入園のつどい	12日（日）	AM:田起こし
11日（土）	AM:種もみまき		PM:避難訓練
	PM:ジャガイモ種芋植え	18日（土）	農家対面式 農家入り

入園のつどい 4/7 (火) 晴れ



第23期生入園のつどいを行いました。大田市長をはじめ、農家の皆さまや校長先生、地域の方々に見守られる中、クロモジを手にした学園生とご家族が入場しました。自己紹介では、「中3として頑張る!」「海の活動が楽しみ」など、それぞれが1年間の山留生活での目標や、楽しみにしていることを発表。これから始まる山留生活への期待が感じられる時間となりました。さらに、つどいの締めくくりには、将希が代表として「学園生の心がまえ」を発表。これからの生活への決意を新たに、全員で「約束します」と声を揃えました。

つどい終了後、学園生はそのまま入浴へ。新入園生は、事前の入浴ミーティングで学んだことを思い出しながら、継続生は優しくサポートしながら入浴する姿が見られました。これから数日は、生活習慣に関するミーティングが続きます。山村留学では、たくさんの楽しい活動がありますが、その土台となるのは日々の生活。自分のことは自分で行き、仲間と気持ちよく過ごすための生活を皆でつくります。この1年間、三瓶の自然の中でたくさん遊び、多くの思い出を重ねて欲しいと思います。



種粃(たねもみ)まき 4/11(土) AM 晴れ

今年度初めての週末活動となる種粃まきをしました。継続生を中心に、3人ずつのチームに分かれて作業を開始。種もみまきは、稲の苗を育てるための大切な工程です。まず、苗箱に土を入れて平らにならし、水を含ませます。その後、種粃を均一にまき、上から土をかぶせます。一見簡単そうに見えても、意外と難しい作業。苦戦する学園生の姿も。また、作業をする中で、こぼれてしまった種粃や土を無駄にしないように、丁寧に拾い集める学



園生の様子も見られました。

完成した苗箱は、矢田家へ。毎年、矢田家の育苗器に入れ、その後ハウスで育てていただいています。この日は、ちょうど矢田の父さん達も種粃まきの作業をされており、機械での作業の様子もを見せていただきました。手作業では1箱15分程かかる工程が、機械ではわずか十数秒で完了していく光景に、学園生達は「すごい!」と驚いていました。来週の農家入りで矢田家にお世話になる学園生には、ぜひ育苗のお手伝いをして欲しいと思います。

じゃがいもの種芋植え 4/11(土) PM 晴れ

種粃まきも無事に終わり、午後はじゃがいもの種芋植えをしました。今年度初めての畑の活動です。前日の放課後、早く帰ってきた子ども達で種芋を半分に切り、灰をつける作業をしました。こうすることで、植え付け数が増えて収穫量がUPします。昨年も経験している継続生達は「僕が肥料撒くから、ジャガイモ置いてって」「もうちょっと深い方がいいかも」と、声を掛け合いながらどんどん作業を進め、予定していた時間よりも大幅に早く終わりました。今年植えたのは、男爵とキタアカリ、とうやの3種類。秋にどんな芋ができるか楽しみです。



田起こし 4/12 (日) 晴れ

センターから15分ほど歩いた徳原地区に、センターの田んぼはあります。稲を育てるために欠かせない土壌の整備。その第一歩である田起こしをしました。

最初にみんなで肥料を撒いたあと、いよいよ本格的に作業開始。鍬(クワ)を持って、継続生と新入園生が交互に一行に並び、おこしました。最初はなかなか上手に鍬が使えない新入園生もいましたが、そこは継続生がしっかりフォロー。



新入園生の所もどんどんおこしていました。途中、子ども達からは「疲れた」「手が痛い」「まだ半分!？」などの声が出ていましたが、みんな一生懸命鍬を振り続けました。中には、手にマメができた子も。休憩タイムには、スイバや花の蜜を吸ったり、蛙を追いかけたりと、自然を満喫する子ども達。後半戦も「気合いだー!」と声を掛け合い、集中して取り組んだので、9人という人数でも、午前中で作業を終えることができました。最後は「やったー」「終わったー」とみんなで達成感を味わいました。



農家対面式 4/18 (土) くもり時々晴れ

子ども達が待ちに待った農家対面式。数日前から「私どこの農家?」「もう農家割り決まったよね?」など学園生たちもそわそわ。今年は、3軒の農家さんにお世話になります。子ども達と農家さんが、前庭に向かい合って並び、



センター長の話、農家さんの話、そして学園生代表の言葉があり、いよいよ発表の時です。どこの農家になるのか緊張気味の学園生たち。名前を呼ばれたら「はい!」としっかり返事を



をして農家さんの前へ。「よろしくお願ひします」と握手を交わしました。対面式が終わると、写真撮影をして荷物を車に詰め込みました。子ども達もわくわくとした様子で「行ってきまーす!」と元気よく農家へ出発。これからこのメンバーで1年間農家さんにお世話になり、センターでは出来ないような体験をたくさんさせてもらいます。1年間よろしくお願ひします。

基本的な生活習慣身につけてます

人が生きていく上で大事なこと、集団生活をする上でみんなが気持ちよく生活するために大切なことが「基本的な生活習慣」です。学園生は農家入りまでに、掃除や洗濯、お風呂の入り方、食事マナー、挨拶のことなど、毎日のミーティングを通して確認をしてきました。山留生活中にしっかり身につけていきましょう。



足型とりました

歩くことを大事にしている育てる会では、入園したばかりの4月と修園する前の3月に足型をとります。

1年たくさん歩いた足はどんな風が変わっているのでしょうか。3月をお楽しみに!



2026年度 三瓶こだま学園 スタッフの紹介



センター長

桑野尚宜 (大田市教育委員会)
島根県邑南町

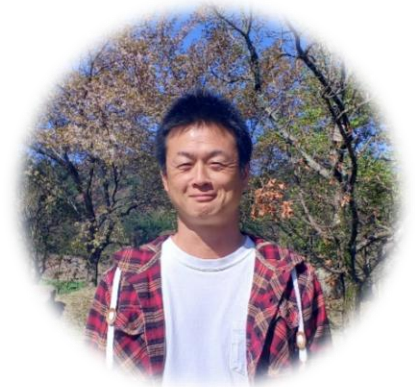
趣味 : 木、石、土、BBQ
今年の目標 : keep smile



主任

竹下健 (大田市教育委員会)
島根県大田市

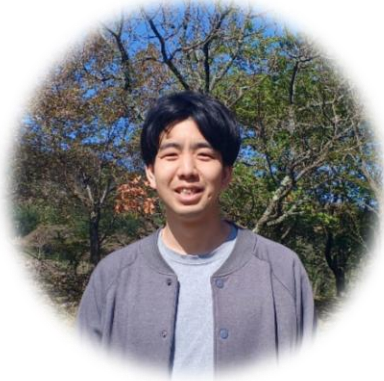
趣味 : テニス、山登り
今年の目標 : 自転車通勤
(自転車買いました!)



指導主任

稲井祐介 (育てる会)
香川県

趣味 : 子どもと遊ぶこと
今年の目標 : 料理を頑張る



指導員

浅平泰地 (育てる会)
京都府

趣味 : 釣り、コーヒー
今年の目標 : でっかい獲物を釣る!
たるんだ体を引き締める



指導員

土本愛果 (育てる会)
島根県三瓶町池田

趣味 : 自然の中でボーっとする
今年の目標 : 演目制覇!



調理スタッフ

細川志津子 (育てる会)
島根県浜田市

趣味 : ウォーキング
今年の目標 : 昨年よりももっと楽しむ!

1年間よろしくお祈いします。

「くにびき通信」2026年度 第1号



大田市
山村留学センター
Sanbe Kodama Academy



大田市山村留学センター
公式ホームページ



〒694-0002 島根県大田市山口町山口1694

TEL: 0854-86-0700 FAX: 0854-86-0701 Email: o-sanryu@city.oda.lg.jp